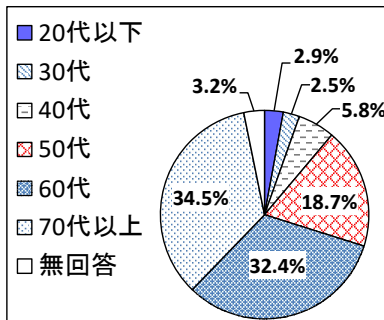


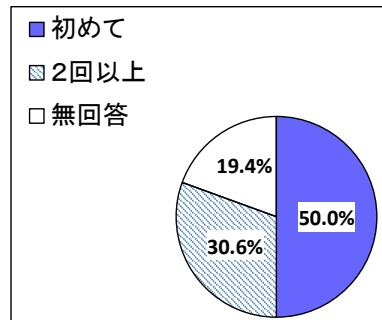
1 参加住民アンケート結果

アンケート回答者数278人（伊方町117人、八幡浜市30人、大洲市44人、西予市31人、宇和島市25人、伊予市19人、内子町12人）

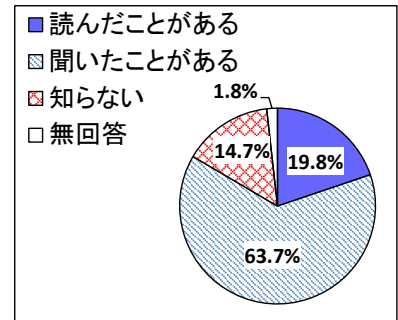
Q 回答者の年齢



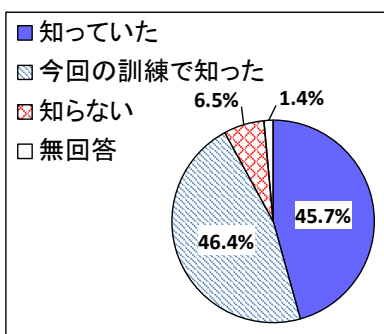
Q 回答者の原子力防災訓練参加回数



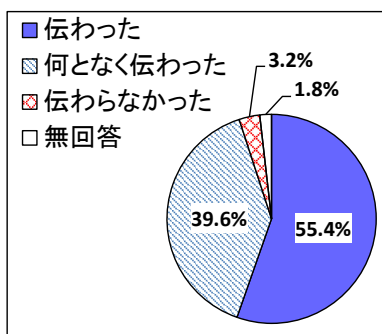
Q1 愛媛県広域避難計画を知っていますか



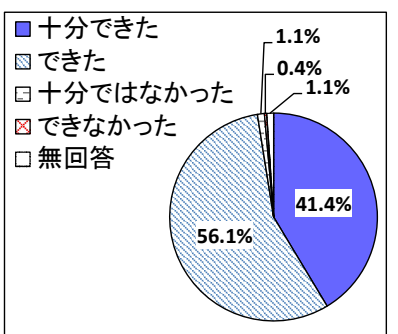
Q2 原子力災害時の避難方法を知っていますか



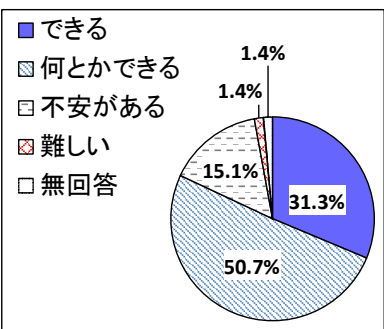
Q3 住民広報は確実に伝わりましたか



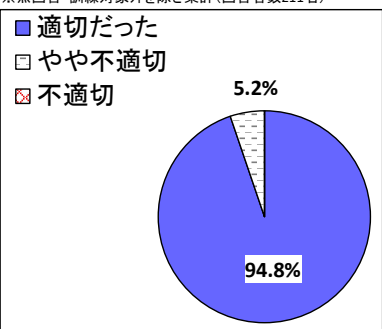
Q4 避難はスムーズに行えましたか



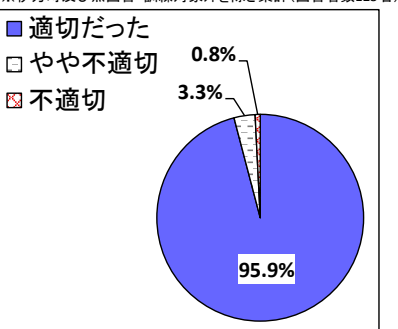
Q5 訓練を体験して避難は行えると感じましたか



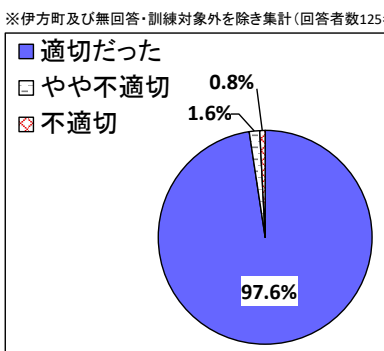
Q6 一時集結所の運営は適切でしたか



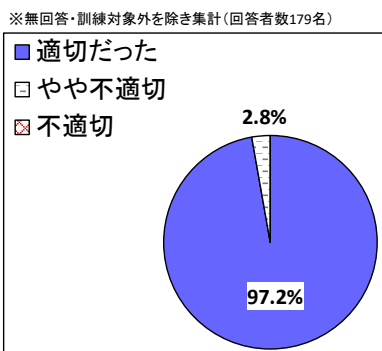
Q7 安定ヨウ素剤の配布、服用は適切に行えましたか



Q8 避難退域時検査の運営は適切でしたか



Q9 避難経由所・避難所の運営は適切でしたか

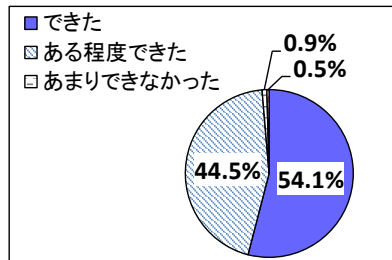


<主な意見>

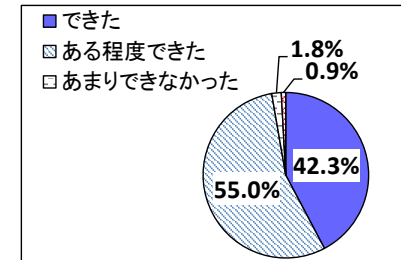
- ・知っているつもりで知らない点が多数あった。
勉強になった。実際に事故が起こった場合、適切に行動できるかは不安。
- ・今回の様な訓練であったり、研修会を繰り返し実施する事が大切と思った。
- ・初参加でしたが一連の避難の流れが分かり良かったです。
- ・自分の世帯だけであれば対応できると思うが、
自宅付近の高齢者、独居、障害のある方の対応を考えると不安である。

2 要員アンケート結果(図上訓練) アンケート回答者数199人

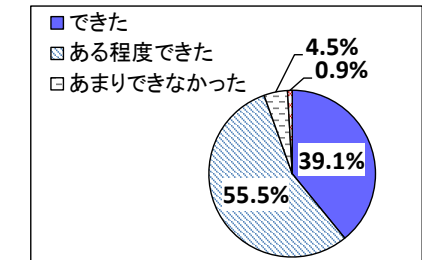
Q1 訓練想定や目的等を理解し
訓練参加できましたか



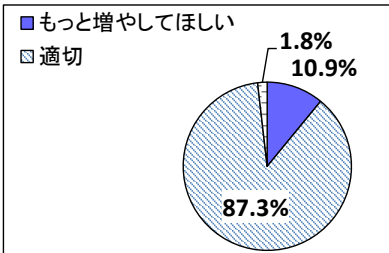
Q2 自らの役割を果たすことが
できましたか



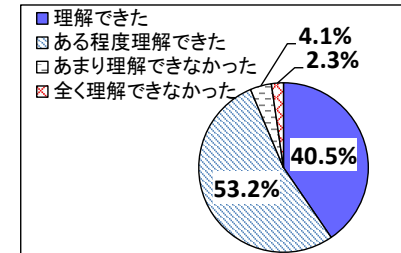
Q3 訓練参加機関との連携は
できましたか



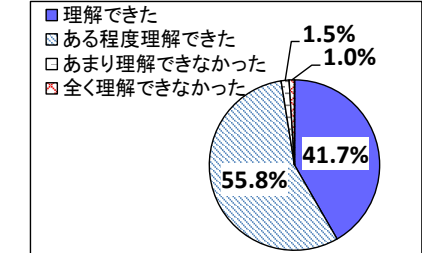
Q4 訓練における役割分担は
どうでしたか



Q5 住民避難の対応等について
理解が進みましたか



Q6 災害対策本部やオフサイトセンターの
対応等について理解が進みましたか



<主な意見>

(県災害対策本部)

- ・一度共有した情報を他の班の方に再度説明する事もあった。情報を全体に共有する難しさを感じた。

(市町等災害対策本部)

- ・国との総合防災訓練ということで、国と愛媛県の動きに併せて、役割や動くタイミングが設定されており、より現実に近い動きで訓練が出来たことが良かった。

(オフサイトセンター)

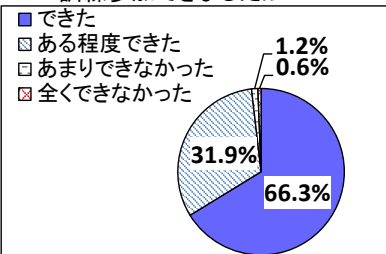
- ・OFC住民安全班では県現地本部とオンライン会議を常時繋いでおり、県現地本部から対応状況が共有され、とても良かった。

(緊急時モニタリング訓練)

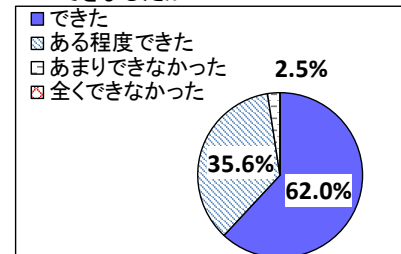
- ・各班を構成する際に、地理が解るメンバーを入れておくほうがよい。
目的地に辿り着けない場合や臨機応変に迂回ができる様にしておく方がよいと思われる。

3 要員アンケート結果(実動訓練) アンケート回答者数188人

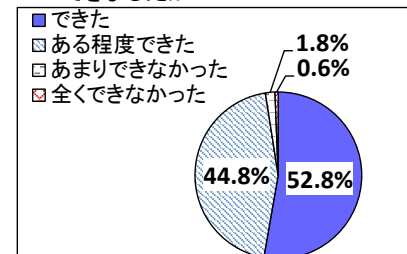
Q1 訓練想定や目的等を理解し
訓練参加できましたか



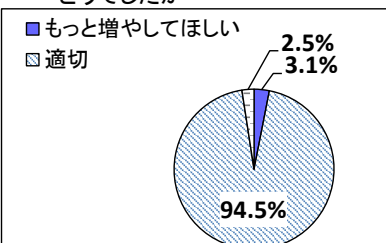
Q2 自らの役割を果たすことが
できましたか



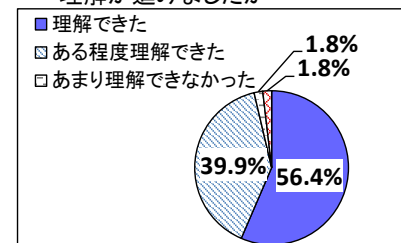
Q3 訓練参加機関との連携は
できましたか



Q4 訓練における役割分担は
どうでしたか



Q5 住民避難の対応等について
理解が進みましたか



<主な意見>

(住民避難・誘導訓練)

- ・訓練を継続していくことで、要員間で顔の見える関係が構築できており、スムーズに対応できた。
- ・一時集結所の顔認証システムによる受付はうまく使えば非常に有効的。
- ・有事の際に使えるよう、訓練の集積が重要。
- ・訓練には小中高生も参加させ、町や県の取り組みを紹介して若者に原子力の理解を進めるとよい。

(安定ヨウ素剤緊急配布・服用訓練)

- ・昨年度より今回の方がシンプルな動きになった。
- ・丁寧な対応は本番ではできないため、できるだけ無駄は省いた方がよい。
- ・一時集結所等で従事する要員への配布手順についても、訓練で確認する必要があるのではないか。

(避難退域時検査・簡易除染訓練)

- ・物品を入れているカートのエが多かったため、保管時にビニールを掛けるなど、改善が必要。